



— 地湧社の新刊・話題の本やイベント情報など、湧きたての最新情報を隔月でお届けします —

## 新刊のご紹介

私たちはどうしたら安らいだ心で生きていけるのか  
そんな問いに答えるかのような新刊が、3冊登場しました。  
『仏教』、『心とからだの手当て』、そして『いのち』の視点から…  
まずは内なる安らぎに目を向けることからをはじめてみませんか。

11月末  
発売予定

## 『仏教は世界を救うか』『仏・法・僧』の過去／現在／未来を問う

【パネリスト】井上ウィマラ・藤田一照・西川隆範  
【司会】鎌田東二

仏教に出会い、各々に活躍の場を築いてきた3人のパネリストが、仏教が私たちの生き方にどのように応え、どのように智慧を与えてくれるのかをテーマに語った講演録。「仏とは何か」「仏法は真理か」「仏教は社会に有用か」という3部構成で、仏教に出会うきっかけから、經典に基づく思想的な原点の解説、そして教徒の生活集団であるサンガ（僧伽）の意味とその意義の再確認まで、仏教の全容を現代的視点から語り尽くします。「私」という個が直面する問題と、「社会」に山積みする問題をつないで、「いま」をどう生きるかという指針が、読む人それぞれの読み方に応じて見えてくるでしょう。



※東京自由大学〈現代靈性学講座・仏教は世界を救うか?〉講義録より編集刊行  
四六判／320頁  
定価2520円



## 『心とからだにきく 和みの手当て』

ガンダーリ松本著 四六判221頁 1575円

心と体に溜まった痛みや緊張が、大いなる安心感の中で、一つずつほぐれていく…読むだけでもそんな気持ちになります。心理学、東洋医学、大脳生理学、演劇などを学び「幸せになること」の意味を求め続けた著者がたどり着いた答えは「自分自身を生きること」でした。著者が編み出したこの『和みの手当て』は、シンプルながらも心と体の奥深くにまではたらきかけます。緊張を手放し、自分の内に眠る自分だけの「鍵」を一人一人が見つつけられるように…著者のあたたかい包容力と「安心」力が本全体から伝わってきます。疲れたなと思ったら、こっそり試してみてください。

## 『すべてはひとつの命』

～安らぎと自由への新しい道～  
やすだひでお著 四六判192頁 1575円

私たちが真の安らぎのなかで生きていくためにはどうしたらいいのかが、客観的な知識である哲学をすてて、自分の中の感覚から湧き出る真理をつかむため世界を放浪した著者が、苦しみを悪とするのではなく、苦しみの神聖な意味に気づき「すべてはひとつの命」という真理をつかみます。友と私の対話形式で書かれた文章は、自分自身をみつめるまなざしのようにあり、読み進めるうちにいつのまにか自分もその対話に加わり、心の内を育ててくれます。ゆっくりと味わいながら読みたい本です。